

やすらぎの森

新春号
2018.1

contents

- 2 部署紹介—在宅支援総合事業部
- 3 高齢者の病気
- 4 人生いろいろ
杏仁祭
短歌俳句川柳
- 5 ふおれすと写真館
合同作品展 ~私のふるさと~

Vol. 67



年頭のご挨拶

介護老人保健施設「フォレスト熊本」
施設長 上妻和夫

皆様明けましておめでとうございます。

今年には2018年戌年となりますが、一昨年の熊本地震からやがて2年となり、大部復旧・復興もすすんできました。しかしまだまだ仮設住宅での生活を余儀なくされている住民もいらつしやいます。元の生活に戻るには時間がかかりそうです。

さて団塊の世代が75才以上になる2025年も今年であと7年となりました。2025年一気に後期高齢者が増えますが、このままですと高齢者の介護難民が予想されます。そのため数年前から国は地域包括ケアシステムの構築を発表しています。高齢になっても住み慣れた地域で医療、介護、予防、住まい、日常生活を支援して安心して暮らしていこうとするシステムです。特に医療と介護の連携は不可欠です。介護保険制度が始まったのは2000年で当時の年間介護費用が3.6兆円でした。2016年の年間介護費用は10兆円ですが、2025年にはさらに現在の2倍と予想されています。また介護職員も37万人が不足と予想され、今後ますます深刻になってきます。今年には介護報酬改定、診療報酬改定同時の年です。年々増える社会保障費に財源不足を理由に財務省はマイナス改定を主張していますが、このまま介護職の人材の不足が続けばサービス業務に支障を来たすことでしょう。そうならないよう介護人材

処遇改善にむけては、積極的な改善見

直しをお願いしたいです。つい先日政府は消費税10%実施後、勤続年数10年以上の介護士に月額8万円相当の処遇改善を行う計画を発表しました。それと介護職に外国人を増やそうと技能実習生の新制度を昨年11月もうけました。いくら介護職が不足するからとその分の穴埋めに外国人を受入れてはたしてうまくいくのか、介護の質の低下にならないかはなほ疑問です。10年20年先あるいはもつと将来、介護職が外国人だらけにならないことを祈りたいです。それより定年退職者に元気な方もたくさんいらつしやいます。人生経験も豊富ですのでその活用に積極的に取り組んでほしいものです。

このフォレスト熊本は平成10年1月に開設されましたので丁度20年が経ちました。施設も老朽化が目立ってきました。また帯山地区には平成28年6月サービス付き高齢者向け住宅「花鏡」を開設しました。さらに高齢者支援センター「ささえりあ帯山」では市の委託を受け、地域の福祉に貢献しております。今後も当施設では高齢者の尊厳の保持と自立支援をめざし、中間施設の使命である在宅復帰を推進し、在宅強化型老健施設として運用します。安全面では、今後も事故のない安全、安心な介護をかかげ、職員一丸となって、質の高いサービス向上を目指して頑張ってまいりますので本年もよろしくお願ひします。

部 署 紹 介

在宅支援総合事業部

役割 医療・保健・福祉の連携により、高齢者、障がい者、又その家族が、住み慣れた地域や家で安心して暮らせることを支援します。その人らしい生活、望む生活ができるように自立した生活ができるように支援することがフォレスト熊本の理念であり、在宅総合支援事業部の役割であります。



乳幼児から高齢者まで病気や障がいを持った方が、その方らしく療養生活を送れるように看護師等がご自宅を訪問し支援するサービスです。看護師は365日24時間対応しています。

- ・ 病状観察、療養上の世話
- ・ 医師の指示による医療処置、医療機器管理
- ・ 在宅でのリハビリテーション（生活に合わせた）
- ・ ターミナルケア
- ・ (ガン末期や終末期のケア)
- ・ 認知症のケア
- ・ (介護の相談や工夫のアドバイス)
- ・ 褥創の予防
- ・ (栄養、運動低下予防など)
- ・ ご家族等への介護支援・相談・健康管理等

訪問看護

居宅介護支援事業

- ・ 介護に関する相談、援助、要支援・要介護認定の代行申請
 - ・ 居宅サービス計画書
 - ・ サービス提供者との連絡調整、介護保険施設紹介
 - ・ 入院・入所中の施設担当者との連携（退院・退所に向けた打ち合わせ）
 - ・ 地域包括支援センターとの契約を交わし委託をうけ、介護予防サービス計画書の作成
- 皆様の相談に真摯に対応するケアマネージャーが揃っています。いつでもご相談下さい。



訪問介護

- ・ 身体介護中心
直接身体にふれて介護をする身の回りの介護
 - ・ 排泄介助、清拭、整容、更衣等
 - ・ 体位交換、移動・移乗介助、起床介助、就寝介助など
 - ・ 生活援助中心
身体に接触しない介護
調理・洗濯・掃除・買い物など
日常生活に必要な援助
- 生活を支える専門家として優しいスタッフが丁寧に対応致します。お気軽にご相談ください。



高齢者の病気

今回、特に冬場に気を付けたい「インフルエンザ」「ノロウイルス」について挙げました。



「インフルエンザ」

症状は高熱（38.5℃以上）、関節痛、全身のだるさ、咳、喉の痛みなどがあります。

感染経路は飛沫感染（咳やくしゃみなどの飛沫に含まれるウイルスを吸いこみ体内に入り込む）と接触感染（ウイルスの付いたドアノブなどに触れた手で目、鼻、口を触ることで体内に入り込む）があります。予防法としては、手洗い、うがい、マスク着用、適度な湿度保持（50～60%）、バランスのとれた食事と十分な睡眠をとりましょう。インフルエンザにかかった後二日程度は他の人にうつす可能性があるため周りの人とうつさない対策を心がけましょう。

「ノロウイルス」

症状は激しい下痢や嘔吐、腹痛などの感染性胃腸炎を引き起こし、そ

の他にも頭痛、発熱、筋肉痛、だるさがあります。現在は治療薬がない為、対処方法として水分と栄養補給を行います。

通常は2～3日程続いた後に回復しますが症状回復後でも1～2週間、まれに1ヶ月に亘り糞便中にウイルスを排出し続けます。その為、二次感染に注意が必要となります。予防と対策としては、手洗い、うがい、調理器具は十分に加熱（85℃以上、1分以上）。感染者の吐物や糞便を直接触らない（マスク、手袋着用）。

ノロウイルスの殺菌方法としては次亜塩素酸ナトリウムを含む家庭用塩素系漂白剤が有効です。

《作り方》

- ・500mlペットボトルの水に対して2ml（キャップ約半分）…衣類や布団のつけ置き、ドアノブ、テーブルなど
- ・500mlペットボトルの水に対して10ml（キャップ約2杯）…糞便や吐物が直接着いた床、トイレなど

現任研修 専門コース ケアマネジメント力向上コース



2000年4月に介護保険制度が施行され「介護支援専門員」という資格を持つ人達の仕事が始まりました。通称「ケアマネジャー」と呼ばれる介護支援専門員は、要介護高齢者に対するケアマネジメントの担い手として医療・福祉の現場で必要不可欠な存在となっています。本コースではそのケアマネジメントの理解を深める為に、事例やグループワークを通じて知識や資源の活用を考えながら実践力を養ったり、介護保険制度における基礎知識の習得と地域包括ケアの理解から介護支援専門員の資格取得をサポートするプログラムで構成されています。

そもそもケアマネジメントとは、ご利用者の社会生活上の課題を充足させる為に適切な社会資源と結びつけることと言えます。より良いケアマネジメントを実践する為には、「保険」・「医療」・「福祉」・「行政」・「法律」など多岐にわたる専門職との調整や交渉を行う必要があります。その際、根幹をなすのは、「ご利用者が何を求めているのか?」・「ご利用者が持っている力を最大限に活用するには何が必要か?」・「ご利用者を継続的に支える環境をどう調整したらいいのか?」など様々な視点から情報を収集し、それを支援する者同士が情報を共有する必要があります。ご利用者が安心して日々の生活を送る為には、画一的に決められた支援内容があるわけではなく、その時々で必要な支援内容を多様に組み合わせる必要があります。本コースの受講生はそういった多角的な視点を持ち、より良い展開が実践できる人材としてご利用者・ご家族・地域に貢献できるように精進しています。

金田 貴也

人生いろいろ



米田 實様

当施設通所りハビリを
利用されています。『日
本将棋連盟 四段』に昇
段されました。とても向
上心があり、将棋や囲碁
の勉強をずっと続けてい
らっしゃいます。この度
は、その努力が実り昇段
されました。私達もその
姿勢を見習い精進してい
きたいと思えます。

杏仁祭

2017

ボランティアの皆様、
ご来場頂いたお客様
誠にありがとうございました。



ご利用者の作品

選 総評 松岡 妙子 先生

講評

古い年を見送り、そして新しい年を迎え入れ、会は順調に進んでいます。皆様も精進され、良い作品に仕上がりました。(出来るだけ原作を大切に少し手を加えました)。しっかりと前を向き学ばれる意欲に、頭が下がります。その調子で今年も一つ忘れたら、一つ覚えるという気持ちで、楽しみながら頑張りましょう。私も明るく楽しい会とご満足いただけるよう尽力致します。

川柳

「若いね」と言われ帽子脱ぎそびれ

米田 實

俳句

- ・金峰山故旧なんぞ忘れざる
- ・捨て難き母の小物の梅雨じめり
- ・風鈴の風にさやかに鳴る音色
- ・水平線に沈む夕陽や秋の海
- ・声高に追う兔あみ霜夜明け
- ・寂として神楽と鶏で明けにけり
- ・なすな摘む土のにおいの中に母
- ・千大根煮れば母の句のす
- ・寒空の順番待ちに笑顔なし
- ・うすぐらさ友にかきたやふみ便り
- ・古里や魚影ゆらめく小川あり
- ・母の日の感謝四十回まだ足りず
- ・初鰹食べたつもりで花カツオ
- ・藍色の空に三日月虫の声

蛇足亭主人
吉川 テイ子
坂本 イチ子
堤田 富美子
甲斐 貴久子
田中 テイ
濱村 アヤ子
工藤 ヒサ
村上 チギリ
村上 洋子
徳岡 寛一
池田 憲治
岡本 恭明
坂本 康子

短歌

- ・わが髪にレンゲの花を挿しくれし幼な友達古里の野辺
- ・形見にと洗みおびたる鯨尺。大正拾年式月吉日の記
- ・池や川で魚と泳ぎしふる里よ昼間も人は余り通らず
- ・桑畑をかけずりまわった友よ友わが懐かしき古里は韓国
- ・小学校廃校となり運動会遠足今に友らの声が
- ・フォレストはわが古里と思う程居心地の良く長生きできそう
- ・フォレストに働く人らの優しさに老人われら癒されており
- ・風猛るさなかあまたの赤トンボ。やすらぎの森。守りくるるか
- ・百獣の王にはなれぬ若者のおのれ欺く金色の立て髪

竹下 富恵
吉川 テイ子
迎田 友子
坂本 イチ子
隈部 スヤ子
正木 恒子
中西 春子
岡本 恭明
松岡 妙子

第3回 介護老人保健施設フォレスト熊本
 デイサービスセンター花鏡 合同作品展
 ～私のふるさと～

平成29年9月17日(日)～9月30日(土)に、お菓子の香梅 ドゥ・アート
 スペース常山にて「第3回介護老人保健施設フォレスト熊本・デイサービスセ
 ンター花鏡合同作品展～私のふるさと～」と題しまして展覧会を開催しました。

秋の熊本城を題材にした扇や、熊本城を眺めながら作られた短歌「石垣
 のくずれているも 二の丸広場木々の緑に囲まれ清し」、花鏡のご利用者が
 「陶芸」「編み物」など、心を込めて作られた作品を展示しました。また開催
 期間中にはコンサートもあり、素敵なお作品に囲まれながら秋の音楽などを
 ゆっくりと聴いていただきました。

また作品鑑賞後、好きなお菓子を買われるなどされ、芸術と食欲の秋を
 堪能されていました。

ふおれすと
 写真館



介護老人保健施設フォレスト熊本の理念

わたしたちは高齢者が充実した人生を継続していただけるように全力を尽くします。

運営方針

総合的ケアサービス施設です。



フォレスト熊本は、利用者の心身の状態あるいは介護者や家族の環境に合わせて、医療的サービスと福祉サービスを総合的、一体的に提供します。

利用者の家庭復帰を目指します。



フォレスト熊本は、利用者の意思と人格を尊重すると共に、常に利用者の立場に立って心身の自立を支援し、家庭復帰を目指します。

在宅ケアを支援します。



フォレスト熊本は、短期入所(ショートステイ)、通所リハビリ(デイケア)をはじめ、訪問看護、訪問介護など多様な機能を生かし、在宅ケア支援の拠点を目指します。

地域に開かれた施設です。



フォレスト熊本は、地域の高齢者ケアに関する社会資源として、地域の高齢者ケアの質の向上に貢献します。



◆入所・短期入所(80床)・通所リハビリ(定員100名)

〒862-0970 熊本市中央区渡鹿5丁目1番37号

TEL.096-363-0101 FAX.096-363-3363

【HP】<http://www.kyouninkai.jp/forest/>

【Mail】forest@kyouninkai.jp

居宅介護支援事業所	フォレスト熊本	TEL.096-206-0091(直通)
訪問看護ステーション	フォレスト熊本	TEL.096-375-1411(直通)
ホームヘルプステーション	フォレスト熊本	TEL.096-375-1411(直通)

- ◆関連病院 くまもと青明病院 熊本内科病院 江南病院
- ◆熊本市地域包括支援センター 熊本市高齢者支援センター ささえりあ帯山
- ◆熊本市障がい者相談支援センター ウイズ
- ◆サービス付き高齢者向け住宅 花鏡 ◆デイサービスセンター 花鏡
- ◆ヘルプステーション 花鏡 ◆居宅介護支援事業所 花鏡



2018(平成30)年は、介護、診療報酬の同時改定だけではなく、第7次医療計画、第7期介護保険事業計画の開始といった、今後の医療、介護施策において極めて重要な節目になると言われています。当施設でも地域包括ケアシステムへ貢献すべく、今後も継続的に取り組んで参ります。フォレスト熊本との関わりにより「生活が楽しい」と思っている事、原点回帰、これからも地域の皆様とともにある施設として役割を果たします。広報紙作成にあたり御協力頂きました皆様、この場を借り感謝申し上げます。

編集後記

